

## 放課後等デイサービス・事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4年 1月 29日

公表: 令和 4年 2月 20日

事業所名 chameleon

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	適切であるが、活動内容によっては別の施設の利用をしている。	現状を継続していく。
	2	職員の配置数は適切である	9	0	シフト作成時に加え、日々確認を行うようにしている。	現状を継続していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	4	職員全員でリスクの予測を行っている。利用者の発達・特性・コンディションなどを配慮し、介助を行っている。	不十分なところは改善したり支援の方法を考えている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0	仮説を立て、実践し、試行錯誤している。上手くいかない際には、すぐに別の計画をたてるようにしている。	現状を継続していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	要望・苦情に関しては職員で共有をし、検討を行っている。可能な限り迅速に対応している。	職員間でも業務に対し、会議を行い、振り返りを継続していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1	公表のお知らせをするようにしている。	途中契約の方に公表していることを周知してもらえるよう努力する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3	施設内で課題はないか日々検討している。	外部からの評価も検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	研修は定期的に設けている。	職員の専門分野でないものや新しい情報も研修に取り入れていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	生活情報と本人の状態、ちょっとした変化などを捉え、分析するようにしている。	現状を継続していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	ABC分析などを行うようにしている。	標準化されたものではないため、検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	課題や目標を職員間で共通理解とし、計画立案を行うようにしている。	現状を継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	活動プログラムは固定化しないように配慮しており、利用者のコンディションによって変更している。利用者の要望等も取り入れている。	現状を継続していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1	生活リズム、利用の時間などに応じて日々課題設定を行っている。	現状を継続していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	個別と集団での目標をそれぞれ計画に取り入れるようにしている。	現状を継続していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	業務分担表を毎日作成し、視覚化している。	現状を継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	支援開始時や終了時に、情報共有を行っている。	現状を継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	特に環境の変化やコンディションのムラ、日頃と違う部分は特に細かく記録をとり、原因や支援方法の検討を行っている。	職員によって視点が違う為、共通理解を図っていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	定期的にモニタリングを実施している。また利用者の変化があった際には、支援の検討を行っている。	現状を維持し、計画変更がある際にはその都度応じていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	0	複合的に評価をし、利用者・保護者のニーズも踏まえ、将来を見据えた支援を行っている。	現状を継続していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	現状を継続していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	基本的には保護者を介し、情報交換をするようにしているが、必要に応じて直接連絡調整を行うようにしている。	現状を継続していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	1	—	医療的ケアの必要な利用者が今のところいない為、必要に応じて検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	1	保護者より情報を得るようにしている。	新規で小学校1年生から利用する場合には、園との連携が図れていない為、検討していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	3	情報提供書を作成するようにしている。	必要に応じて会議等も行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	3	研修等が開催されている場合には、職員に周知するようにしている。	感染拡大が落ち着いたら、積極的に行ってきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	5	外出時に、地域のこどもと関わることがある。	感染拡大が落ち着いたら実施したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	5	事業所内での検討をこまめに行うようにしている。	感染拡大が落ち着いたら、他施設との連携などにも参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	日々利用者・保護者と話し、課題の伝達や支援方法の検討・提案を行っている。	必要に応じて面談を行っていく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	3	保護者への助言は行っている。	ペアレント・トレーニングといった内容での講座等も検討していく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時、契約更新時に行っている。また不明な点があれば、いつでも声をかけて頂くようお願いしている。	さらなる周知を図る。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	保護者への助言・支援はその都度迅速に行うようにしている。	今後も保護者との関係性の構築に努力していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	4	行事を参観してもらってよい日を設け、保護者同士が関われる機会を設けている。	感染拡大が落ち着いたら実施したい。また近いうちにオンラインでの交流を検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	ガイドラインに沿い、かつ利用者・保護者のニーズに合った支援・計画を行うようにしている。	現状を継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	事業所の新聞、SNS、活動予定表、活動計画、連絡帳、療育の記録など細かく発信している。	より周知を図る。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	注意を払うことができている。	現状を継続していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	理解しやすいように利用者・保護者に合わせて伝達の仕方・頻度に配慮している。	現状を継続していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	5	地域の方、保育・福祉分野の方、企業と関わることができないか、アポイントは積極的に行っている。	感染拡大が落ち着いたら検討したい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	4	マニュアルの策定、訓練の実施を行っている。	マニュアルの策定をしているが、周知が不十分な点もある為、周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	3	定期的に訓練を実施している。	現状を継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	3	虐待防止のための研修会を行っている。	現状を継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	5	どのような場合が身体拘束とされるか予測をするようにしている。	現在対象になっている児童がいないが今後対象児童が来所した場合を想定して準備を行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	4	保護者の希望に沿い、アレルギーのある子は除去・接触しないように配慮している。	医師の指示には基づいていない為、検討していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	3	ヒヤリハットの作成を行っている。	事例をもとに内容共有を確実にしていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。